

“未来を信じ、 未来に生きる” 有意義な人生を



関西大学学長
河田 悌一

平成21年己丑(つちのと・うし)の年、西暦2009年3月、関西大学を卒業されるみなさん、ご卒業おめでとうございます。

みなさんは4年前の春、期待と夢を胸に、関西大学に入ってこられました。そして4年間、入学時の初心を忘れることなく、自分の夢の実現に向かって頑張ってきたら、理想と現実のはざまに戸惑い、しばし辛い想いをした人もあることでしょう。

みなさんはそれぞれ関西大学の学生として、数多くのことを学び、経験してこられました。それらの体験の一つひとつが、みなさんの今後の長い人生の折々に、忘れ去ることができぬ貴重な体験として、走馬灯のように想い出されるに違いありません。

相田みつをは「人の世の幸不幸は 人と人が逢うことからはじまる よき出逢いを」といっていますが、おそらくみなさんの多くは「よき出逢い」があり、関西大学に学んでよかったという感慨を胸に、友人、先輩、教職員に別れを告げ、この学園を旅立っていかれることでしょう。

しかし、関西大学を卒業する今日を迎えることができたのは、みなさんの努力だけで可能になったわけではありません。陰に陽に支えてこられたご父母、ご家族の存在があったからこそです。その支援にたいして、感謝の気持ちを忘れないでください。

現在、日本を、そして世界をとりまく状況は、「百年に一度の危機」と称されるごとく、きわめて厳しいものがあります。経済不況、政治不安、官僚不信、環境汚染、

格差増大など、まさに大変な危機的といえる現象が日本国内にもみられます。

しかしながら、過去をふりかえれば、いつの時代にもそうした危機的な状況は存在しました。

近代日本の歴史をみても、1877年の西南の役、1894年の日清戦争、そして日露戦争、第一次世界大戦、いわゆる満州事変、さらに日中戦争、太平洋戦争の勃発と敗戦。敗戦後の64年間にも、1961年の株式の大暴落、68年からの大学紛争と日米安保闘争、73年の第一次オイルショックと91年のバブルの崩壊など…。

戦前は戦争という形態で、戦後は経済変動という現象で、それぞれ厳しい時代状況が出現したのです。けれども、私たちの先人は、みなさんのご父母、そして私たちは、そうした苦しい時代、冷酷な現実を乗り越え、今日の日本をつくってきたのです。

国土が狭く、資源の乏しい日本。その日本には、つねに真剣に学ぶ意欲をもちつづけ、自分自身を知的にも、道徳的にも、成長させていこうとするみなさんの力が必要です。みなさんは大学を卒業後も、学ぶこと、本を読むことを忘れないでください。

日本の未来、世界の未来は、まさにみなさんがたの努力に依拠しているのです。

関西大学の卒業生であることに誇りと自信をもって、日本で世界各地で、少しでも世のため人のためになる、「未来を信じ、未来に生きる」有意義な人生を歩んでくださることを、心から希望しています。

春。三月。今年もまた、卒業生を送り出す。いつものように▼しかし、卒業生諸君が旅立つ世界は「いつものように」とはゆかないようだ。戦後最悪とも、百年に一度とも形容される世界同時不況。諸君は、経済危機という名の、荒れ狂う暴風雨の中に、出航しなければならぬ。「頑張るんだぞ、負けるなよ」背中からそう声をかけて励ましたい。気持ちよ、「頑張り過ぎるなよ。(心が)折れるなよ」そう案ずる気持ちとが交錯する▼しかし、である。若い諸君の自由な発想に期待したい。次の百年の礎を、君たち自身の手で築いて欲しい。関西大学の学びが、その一助となることを願ってやまない。大学の「学び」を役に立つのは、君たち自身である▼もう一つ「学び」とも大切にしたいのが「友」である。苦しいとき悲しいとき、「友」は支えてくれる。大学時代の「友」は良い。打算も駆け引きもなく、語り合えてから「友」とはつながり続けて欲しい▼さあ、共に新しい未来を築こうではないか。

(西田 晃一)

HEADLINE

3面 第2学舎2号館、校友・父母会館が竣工
このたび第二学舎二号館が竣工。ゼミ教室の増加、自習室の新設により、きめ細やかな教育体制が整った。また、関西大学会館の隣接地に校友・父母会館も竣工した。

4・5面 大空に描く、8つの応援メッセージ
今春大学を巣立卒業生に対して、各界で活躍している本学の卒業生から届いた応援メッセージを紹介する。

8面 Memorial of Kansai University 2008
数年後、卒業生に関大での四年間を思い出してもらうため、学生広報スタッフが思い出の写真をちりばめた。離れて見ると何かが浮かんでくる。

- 特集(学生大画)**
- ①面：平成20年度卒業式を挙行
 - ②面：町街塾第一回講座を開催
 - ③面：卒業するみなさんへ
 - ④面：体育卒「この4年間を振り返る」



大空に描く、 の応援メッセージ

—先輩から卒業生に—

ご卒業おめでとうございます。今春大学を巣立つみなさんに、各界で活躍している本学の卒業生から応援メッセージが届きました。届いたメッセージには、社会人としてさまざまな経験をしたからこそ紡ぎ出される生きてきた言葉が詰まっています。これから社会に飛び出すみなさんの背中をそっと後押ししてくれる温かく力強い言葉となることでしょうか。

チャンスをつかめ

佐藤 信夫 さん [昭和39年3月 経済学部卒業]

今春卒業されるみなさんおめでとうございます。これから船出される社会に大きな期待と多少の不安を抱いていらっしゃるのではないでしょうか。私は長い人生の中で、誰でも2回や3回は大きなチャンスに出会うと思っています。そのチャンスを自分のものにするかしないかは、日ごろから準備を整えているかいないかで決まります。スポーツの世界では、ある日突然優勝するチャンスに恵まれることがあります。日ごろから猛練習をし、「心 技 体」のバランスのとれた状態を保っていると、勝利の女神が微笑んでくれます。練習が不十分だった選手の前からは勝利の女神は消えてしまいます。これからみなさんはそれぞれの分野に進んでいかれるでしょう。その分野で切磋琢磨し、何時か必ず訪れるであろう大きなチャンスを賭けてみてください。みなさまのご幸運をお祈りいたします。



【プロフィール】
関大一高から関西大学に進学し、アイススケート部に所属。スコーパー五輪で14位、インスブルック五輪で8位入賞など世界を舞台に活躍した。全日本選手権での10連覇はいまだに破られていない大記録である。これまで村主章枝や中野友加里らの各選手を育て上げ、現在、日本スケート連盟特別強化選手コーチを務める。

苦しい時は「常識」に縛られるな

城島 充 さん [平成元年3月 文学部卒業]

僕は新聞記者を経て、現在はフリーで執筆活動を続けています。この世の中には矛盾に思うことが、たくさん存在します。新聞社という組織に守られていたころの僕は、「常識」の範疇から外れているものに矛盾を感じていました。でも、一人で仕事をするようになった今は、その「常識」にこそ、矛盾を感じるようになりました。男性は、女性は、家族はこうあるべきだ、こういう風に生きれば素晴らしい人生を送ることができる…。人が生きていて苦しくなるのは、いつのまにか意識の中にすり込まれたそうした「常識」から、自分という存在が外れていることを自覚したときです。破天荒に生きろ、と言っているわけではありません。ただ、「常識」と向き合って苦しい思いをした時は、自分を追い詰めないで楽に生きて欲しい。苦しい時は「常識」を疑えばいいのです。本当に生きていくのに必要な個性は、その積み重ねで磨かれていくものですから。



【プロフィール】
本名 小島康弘。昭和41年生まれ。文学部フランス文学科卒業。「夢の漂流」でミスノボリティライター賞最優秀賞、吹くよこの花賞を受賞。卓球界の巨星・萩村伊智雄の生涯を描いた近著「ピンポンさん」(講談社)が話題になっている。

思い立ったら、すぐ行動

内田 絢子 さん [平成12年3月 社会学部卒業]

今、みなさんの心にはどんな感情が溢れているのでしょうか？ 充実、希望、不安、焦り…。その答えは時間が経ってから、わかるものだと思います。私は大学に入学した頃に、DJになりたいという夢を見つけました。でも、「DJになるために何をすればいいのかわからない」中で、周りから言われたことは「とにかく何でも経験しなさい」でした。当時の私にはその意味がわからなかったのですが、夢が叶った今、その意味が痛いほどよくわかります。DJという職業について言えば、私の一言、一言にリスナーが反応してくれます。意外な経験がリスナーの興味をひくことも多くあります。その時は意味をなさないように思えることも、時間が経てば、どこかで繋がっていくものです。私の大学時代からのモットーは「思い立ったら、すぐ行動」。自分の直感を信じて行動することは、やりたいことへ繋がる。これが私からみなさんへのメッセージです。何事もすぐに答えを求めず、過程も含めて、これからの人生を楽しんで欲しいと思います。



【プロフィール】
社会学部卒業後、アパレル会社に就職。DJへの夢をあきらめられず、関西のコミュニティFMでDJをスタートし、平成18年からFM802 DJ。現在は土・日曜、早朝5:00~7:00 「WEEKEND A-GO-GO」を担当している。

苦境こそバネの収縮期

羽生 和子 さん [平成20年3月 大学院文学研究科修了]

おめでとうございます。卒業式こそこれからの社会人としての輝かしいオープニングセレモニーだと思います。「継続こそ力なり」。本当に大学での4年間は、たかが4年されど4年であり、楽しい反面しんどい日々もあったことでしょうが、完結してこそ有終の美を手にしたと心から喜び申し上げます。かく云う私も70歳で文学部3年次生に社会人編入学を果たし、以後5年間大学院で東洋史を学び、平成20年3月文学博士として卒業いたしました。そして本年は、百年に一度と云う未曾有の逆風の中への旅立ちとなりますが、「逆も又真なり」と関大生らしい柔軟さと大阪のパワフルな感性で勇気満ちたんで出発してください。苦境こそバネの収縮期として大きな飛躍が期待できるチャンスでもあります。キャンパスで育った人の輪と若さを武器に羽ばたいてください。きっと自分の最適な居場所が発見できます。先輩の一人として心からのエールを送ります。



【プロフィール】
昭和27年、帝国業学専門学校を卒業。平成13年文学部に編入。大学院博士課程前期、後期課程5年を経て、文学博士を取得。学位論文は「江戸時代における唐業受容の研究」。今や世界一の長寿国になった我が国でも漢方薬はますます需要が高まり、今後ますます蓄積した知識と経験を生かして、社会に還元したいと思っている。

関西大学は魔法の場所

ジャルジャル お笑いコンビ
後藤 淳平 さん 写真:左 [平成18年3月 経済学部卒業] / 福德 秀介 さん 写真:右 [平成18年3月 文学部卒業]

4年間お疲れさまでした。これからは今までと比べれば自由な時間は非常に少なくなります。今まで大学に払っていた授業料を高く感じたかもしれませんが、これは自由な時間を買っていたと思えば安いものだと思えば卒業してから僕は気づきました。卒業したらこれまでの4年間を振り返って、自分を見つめ直し、立派な大人に、そして立派な家庭を築いてまた子孫を関大に入学させてください。(福德)
ほぼ大学でネタをつくってしまっていたので、大学がなければ今、芸人をやっていなかったかもしれませんし、大学があったから続けてこれたという感じですので、みなさんも大学のありがたみが、これからじわじわと出てくるのではないかと考えています。これからは仕事でストレスを感じたり、いろんなことがあると思いますが、行き詰まった時に母校に帰ってきて、「在学中はこんなことがあったな」と思い出すだけで気分が晴れると思います。僕もネタに行き詰まるとすぐ関大に来るんですが、みなさんが過ごした関大はバンバン良いネタが思いつく魔法の場所です。この雰囲気は本当に魔法ですね。この4年間は人生の宝だと思いますし、一生の友だちもできたと思います。4年間の経験を糧にがんばってください。あ、そうそう僕たちのDVDが発売されているのでぜひ観てくださいね。(後藤)



【プロフィール】
平成14年、ともに関大一高から関西大学に進学し、大学1年次生のときにコンビ結成。大学卒業後、NHK新人演芸大賞演芸部門で賞(19年)、笑いの超新星で最優秀新人賞(21年)を受賞するなど、若手のホープとして将来を楽しみである。

次なるパラダイムシフトを起こせ

普天間 大介 さん [平成8年3月 文学部卒業]

ご卒業おめでとうございます。荒波の中に巣立っていくみなさまにとっては、希望と同時に不安もあろうかと思えます。私はバブル崩壊後、メガコンベクション、パラダイムシフト等が言われ始めた時代に社会人の仲間入りしました。受験も就職もあまり「おいしい」思いをしたことがありません。パラダイムシフトとは、まさに前例が通用しない世界。「どうして私だけが」とくじけそうになったこともありました。しかし、このような時代は自分が壁にぶつかり、それを乗り越えた経験自体が先端にもなるのです。そして、その経験は自分にとっての大切な財産になります。経験が財産になるということだけは、もしかしたら昔から変わらないのかもしれませんが、ぜひ進んでチャレンジして、次のパラダイムを作っていただきたいと思えます。ただ、自分のことだけではなく相手のことを思いやる気持ちもお忘れなく。人間がビジネスをやっているということも昔から不変なのです。



【プロフィール】
ビジネススクールなどを運営する(株)グロービスのディレクター(大阪オフィス法人部門統括講師)。平成8年文学部史学・地理学科を卒業。ベリクポイント(旧アーサーアンダーセン)ビジネスコンサルティング、KPMGコンサルティングを経て現職。戦略・組織開発領域が専門。

チームメートは大きな財産

岩田 稔 さん [平成18年3月 経済学部卒業]

卒業生のみならず、ご卒業おめでとうございます。私は関西大学を卒業して早くも3年がたちましたが、学生時代を振り返ってみると、改めて野球のこととともに大学生活を送っていたことが思い出されます。入学後、体育会の野球部に入り、好きな野球を思う存分楽しむことができ、多くの友人や素晴らしいチームメートに巡り会うことができました。4年間、千里山や高槻のグラウンドでボールを投げ、走り、汗を流したのも良い思い出です。いまでも、そのメンバーと会えばいつも学生時代の話題で盛り上がりやすい。いつまでもお互いが助け合いながら、刺激を受けることができるチームメートは私にとって大きな財産であると思っています。現在、阪神タイガースに入団し、レベルの高さとところで野球を続けられるのも、母校・関西大学のチームメートの支えがあるからだと思います。言葉ではありません。卒業生のみならず、友人という大きな財産を大事にしてください。いつまでもよい友人関係を築いてください。

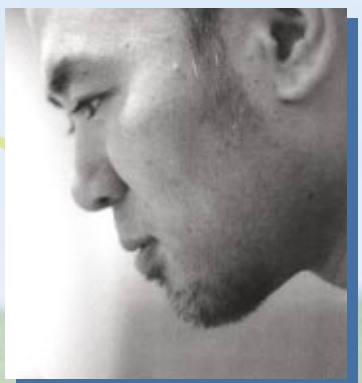


【プロフィール】
平成14年、大阪桐蔭高校から関西大学に入学。2年次生の春からベンチ入りし、初登板で初勝利を挙げる。大学時代、最速151kmのストレートを投げ、17年のドラフト会議で阪神に指名されて希望入団枠で入団。昨年10勝を挙げた。今年WBC日本代表に選ばれる。

志を持って社会との接点を増やそう!

口笛 太郎 さん [平成元年3月 商学部卒業]

これから出会う後輩たちへ。卒業おめでとう。社会人の世界へようこそ！と偉そうに言いたくても、卒業して20年たった僕もまだ、この社会でわからないことがいっぱいあります。「豊かさ=幸せ」と信じて成長してきた日本で、最近「豊かさ」と「幸せ」が一致しなくなり、新たな価値観を探し続けて、みんなが不安定な状態です。僕は何年か前から会社勤めの傍ら、音楽活動をしています。いろんな場所に行って演奏し、人と出会い、帰って次の日から働く、という毎日です。みんな誰そ誰になりたい。でも物質的な豊かさだけを追い続けても、人も社会も自分も歪んでしまう。その事に気づき、僕はもっと外に出て、仕事と家庭以外にも社会と繋がる面を増やそう！と思ったのです。必要とされる所で、自分のできることをやることで、自分や誰かを幸せにできると信じて。僕は今、それほど裕福じゃないけど、充実しています。この先、志を持って社会との接点を増やせば、いろんな人と知り合えます。君たちとどこかで繋がる日を楽しみにしています。その時はぜひ一緒に楽しいことをやりましょう！では。



【プロフィール】
本名 柳田恒雄。関大一中、一高を経て平成元年商学部を卒業。在学中は軽音楽部の部長を務める。卒業後、証券会社を経て音楽関係の企業に転職。会社員生活の傍ら口笛奏者「口笛太郎」としてCDを発売、全国で演奏活動を展開中。

キャリアセンター

卒業後のみなさん、卒業後は自決した目標に向かって、歩みを進めてください。

卒業後の進路(進学等も含む)をキャリアセンターに報告していない人は、至急届け出をお願いします。



卒業後の進路(進学等も含む)をキャリアセンターに報告していない人は、至急届け出をお願いします。

就職情報収集に協力を

この届け出は、KIPS から入力することもできます。

キャリアセンターでは、学生の就職活動時に企業研究の一環として、OB・OG を訪問することを勧めます。今後みなさんは後輩の就職活動について相談を受けることがあると思いますが、自分自身の経験を活かした助言をお願いします。

エクスティション・リードセンター

みなさんは、卒業後の進路についてどのような人生設計を描いているでしょうか。人生において、個人が生涯を通じて関わる職業、そして仕事と余暇を含んだ個人のライフスタイルについて、主体的な人生設計をできるように啓発を行うための資質を開発するに、一般社会よりも豊富な卒業生を対象とした各種講座を開講しています。

資格取得でキャリア形成支援

その仕事と余暇を含んだ個人のライフスタイルについて、主体的な人生設計をできるように啓発を行うための資質を開発するに、一般社会よりも豊富な卒業生を対象とした各種講座を開講しています。

明日を担う明日を拓く卒業するみなさんへ

情報提供と生涯学習支援

卒業して社会人になると、情報化・国際化の進展とともに多様化していく現代社会の中で、上手に情報を使いこなすことが要求されます。また、「生涯学習」により、自己の人格をより豊かに形成していく努力も不可欠です。

図書館は、総合図書館メインカウンター(問い合わせ)と、各フロアに分散した分館があります。

心理相談室

心理相談室では、さまざまな心の悩みを持った人たちが、心理カウンセラーの仲間たちと、近況を語り合うには絶好の場です。

奨学金返還はあなたの責任あなたの義務

卒業するみなさんのなかには、日本学生支援機構、関西大学、地方自治体等の奨学金の貸付を受けた方がいます。奨学金の貸付を受けたが、正課や課外活動に励んできた人も多くいます。

振興会

関西大学科学技術振興会(振興会)は、卒業生、新卒生、在校生、教職員、関係者などからなる団体です。

新産業創出へ一入会を

関西大学科学技術振興会(振興会)は、卒業生、新卒生、在校生、教職員、関係者などからなる団体です。

校友会

卒業後も就職活動を続ける人に対して、キャリアセンターは卒業生就業支援室を設置して支援しています。気軽に相談してください。

校友の輪にご参加を

地域・職場にも校友組織を。また、全国各地の地域支部をはじめ、職域会、ゼミ O B 会、同窓会、各種団体など、六十以上の校友組織があります。

キャリアセンター

卒業後のみなさん、卒業後は自決した目標に向かって、歩みを進めてください。

図書館

卒業して社会人になると、情報化・国際化の進展とともに多様化していく現代社会の中で、上手に情報を使いこなすことが要求されます。

セミナーハウス

本館のセミナーハウスのうち、琵琶湖の湖畔にある彦根荘(滋賀県)、四季折々に趣が変わる白馬梅池高原口ツツジ(長野県)および台山荘(兵庫県)があります。

卒業後も3か所利用可

卒業後も3か所利用可。卒業後も3か所利用可。

～平成17(2005)年度入学生の場合～

◆日本学生支援機構奨学金

1年次から4年次まで奨学生であった場合の例<45カ月分>

種別	貸付月額	貸付総額	返還総額	返還月額	返還回数(年数)
第一種(無利子)	4,400,000円	2,430,000円	2,430,000円	13,500円	180回(15年)
	64,000円	2,880,000円	2,880,000円	15,000円	192回(16年)

1年次から4年次まで奨学生であった場合の例<48カ月分>

種別	貸付月額	貸付総額	返還総額	返還月額	返還回数(年数)
第二種(有利子)	30,000円	1,440,000円	1,761,917円	約11,293円	156回(13年)
	50,000円	2,400,000円	3,018,568円	約16,769円	180回(15年)
	80,000円	3,840,000円	5,167,586円	約21,531円	240回(20年)
	100,000円	4,800,000円	6,459,510円	約26,914円	240回(20年)
	120,000円	5,760,000円	7,751,445円	約32,297円	240回(20年)

(注) 年利率3.0%(上限)で貸付されたものとして計算しています。

◆関西大学奨学金(在学中の貸付額によって異なる)

貸付総額	返還年賦額	貸付総額	返還年賦額
200,000円以下	50,000円	900,100～1,200,000円	100,000円
200,100～300,000円	60,000円	1,200,100～1,600,000円	120,000円
300,100～600,000円	70,000円	1,600,100～3,000,000円	150,000円
600,100～900,000円	90,000円	3,000,100円以上	貸付総額の20分の1

(注) 貸付総額を返還年賦額で除し、返還年賦額未満の端数が生じる場合、その端数は最終の返還年賦額に加算します。ただし、その端数が60,000円を超えるときは、その金額を最終年賦額とします。また、貸付総額が3,000,100円以上で返還年賦額に1,000円未満の端数が生じる場合は、その端数を最終年賦額に加算します。

世界の舞台へ 体育会 この4年



高橋大輔さん

SF入試で強さに厚み

平成十五年度から導入されたスポーツ・フロンティア入試を利用して、数多くの素晴らしい選手が入学し、本学体育会はどんどん強さを増している。

各クラブが関西だけでなく、日本および世界の舞台で力を発揮しはじめた。主将の島居貴久さん(法四)や中川絵美さん(文四)が率いた拳法部は、史上初となるアベック

熱い応援で選手に勇気

そして今年も、Jリーガーも誕生した。エー

ク全日本連覇を成し遂げた。さらに馬術部も二年連続で日本一に輝いた。また近年、アイススケートの高橋大輔さん(文三)、射撃部の笠井善仁さん(文四)らをはじめとして、たくさんの選手が世界の舞台でも目覚ましい活躍を見せている。



大屋翼さん



梶川凜美さん



アイスホッケー部

アイススケート部の澤田亜紀さん
団体フィギュア成年女子の部で準優勝

第六十四回国民体育大会冬季大会(二月二十八日)二月一日、青森県八戸市において、澤田亜紀さん(文二)がフィギュアスケート競技成年女子の部で準優勝した。

町田樹さんが
ユニバーシアードで第5位

ユニバーシアード冬季大会(二月十八日)二十一日、中国ハルビン市において、町田樹さん(文二)がフィギュアスケート男子シングルで第五位となった。

水上競技部の矢野友理江さん
短水路女子400m自由形で優勝

第五十回日本短水路選手権大会(二月二十一日、二十二日、東京都巨摩国際水泳場)において、矢野友理江さん(文二)が女子四百メートル自由形で優勝した。

援バスマス三台が運行、体育会員をはじめ、五百人あまりの関大生が応援に駆けつけ、優勝を後押しした。競技種目の壁を越えて互いに切磋琢磨し合い、意も選手たちに負けてはいない。昨年末、アイススケート部から目が離せない(関大スポーツ編集局)

大島賞 4団体17個人を表彰

大島賞は、過去一年以内(ソフトボール部・経に体育会員のうち全日本大会で優勝、または国際大会において三位までに入賞した団体および個人)に対して表彰するもので、三月十九日(水)の卒業式当日に表彰式が行われる。受賞者は次のとおり。

一 国際大会成績優秀者
 織田信成(アイススケート部・文四)、松山祥子(陸上部・文四)、笠井善仁(射撃部・文四)、川口拓馬(射撃部・文四)

二 全国大会成績優秀者
 一 団体 アイススケート部 拳法部 射撃部 馬術部
 二 個人 町田樹(アイススケート部・文二)、前原愛(レスリング部・社四)、矢野友理江(水上競技部・文二)

三、三村有希(陸上競技部・社二)、中川絵美(拳法部・文四)、武市樹(重量挙げ部・商三)、大曲昭子(ヨット部・商二)、後藤季季(ヨット部・文二)、内村光(少林寺拳法部・法三)

佐賀県武雄市でスポーツ交流会

一月三十一日および二月一日、三月一日に、佐賀県武雄市にて小中高校生を対象としたサッカーと陸上競技のスポーツ交流会を開催した。この交流会は、平成十九年十一月に関西大学と武雄市との間で相互的人的、知的資源の交流と物的資源の活用を図り、地域づくり、教育・文化の振興、人材育成等を推進するために連携協力協定を締結したことに伴い、両者で検討を重ね実現したものである。

一月三十一日および二月一日は、本学サッカー部の島岡健太ヘッドコーチ(元プロサッカー選手)らによるサッカー教室が、また、三月一日には本学陸上競技部の武田夏実コーチらによる、中・長距離の陸上競技教室が行われ、それぞれ教室終了後に両コーチによる講演があった。

当日参加したサッカー部の東剛史さん(社四)は、「やる気のある子どもたちが、とても教え甲斐がありました。」と感想を述べた。

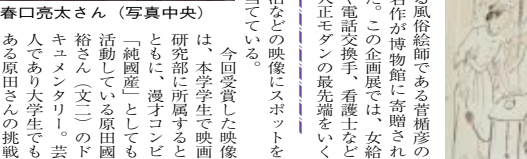


熱心に子どもたちを指導するサッカー部員

飛騨高山ドキュメンタリー映像祭 映画研究部 春口さん 佳作を受賞

三月七日、映画研究部長で監督の春口亮太さん(商二)が制作したドキュメンタリー「ドキュメンタリー」が、同映像祭の佳作を受賞した。同映像祭は、NHK放送局などの主催により、昭和六十三年に「映像によるふるさと再発見」をテーマにスタートしたもので、飛騨高山を題材にした映像に加え、全国の伝統行事や人びとの生活などの映像にスポットを当てている。

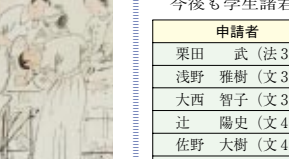
今回受賞した映像は、本学学生で映画研究部に所属するとともに、漫才コンビ「純國産」として活動している原田国裕さん(文二)のドキュメンタリー。芸人であり大学生でもビジネス大賞「ヤクルンプリ大阪」を受賞した。



春口亮太さん(写真中央)ある原田国裕さん(文二)のドキュメンタリーを制作している。

平成21年度 博物館企画展 浪速の絵師 菅橋彦の画業 職業婦人繪巻

昨秋、千里山キャンパスのKUシンフォニーホールで収録された「出張ノ」名作が博物館に寄贈された。この企画展では、女給や電話交換手、看護士など大正モダンの最先端をいくまで、(電話0663698117)



菅橋彦・職業婦人繪巻(赤十字病院部分) 巻の全貌をパネル展示し、紹介する。

職業婦人、農作業に従事し機械を駆使する伝統的な女性など、身長十四メートルの繪巻の全貌をパネル展示し、紹介する。会期は四月一日(水)から五月十七日(日)まで。博物館および学内各所で詳細を掲載したチラシを配布している。問い合わせは、博物館事務室まで、(電話0663698117)

関西大学文化・学術活動等 11件が採択 奨励金制度(業績部門)

文化、学術、福祉、ボランティア活動等、課外活動や自主活動において、優れた実績をあげた学生または団体を支援する「文化・学術活動等奨励金制度」の業績部門の審査が行われ、3月17日に表彰式が執り行われた。4年目となる今年度は、過去最高である19件の応募の中から次の11件が採択され、奨励金が支給された。

申請者	業績
栗田 武(法3)	第58回全日本学生法律討論会 質問の部2位
浅野 雅樹(文3)	G.G.COLLECTION(岐阜市ファッションショー)開催
大西 智子(文3)	第7回センターアリアンス フランス語暗唱大会 準優勝
辻 陽史(文4)	小学校国語科単元「語りに挑戦しよう!」にて落語実演指導
佐野 大樹(文4)	ターナー色彩株式会社 ACRYL AWARD 2008 入選
糸数めぐみ(社2)	全国珠算競技大会 そろばんクリスマスカップ 準日本一
一ノ宮 渉(外国語教育学研究科M1)	East-West チーム優勝 個人1位
李 俊(経済学研究科M2)	第49回外国人による日本語弁論大会 出場
文化会本部	関西大学文化会学術研究会 合同機関誌「誠」 第4号発行
映画研究部	第4回学生国際ショートムービー映画祭 Panasonic 技術賞
ボランティアセンター 学生スタッフ	関西大学千里山キャンパス福祉 MAP 作成

賞

○キャンパスベンチャーラボ
 ランキング大阪実行委員会
 ◆第10回キャンパスベンチャーグランプリ大阪
 ビジネス大賞
 工学部四年次生 藤井隆嗣
 (平成二十一年 月 日)

関大通信 第360号

平成21年(2009年)3月19日
大阪府吹田市山手町3-3-35
<http://www.kansai-u.ac.jp/>
次号は4月1日発行の予定です

Memorial of Kansai University

2008

特集
学生企画

卒業生のみならず、ご卒業おめでとうございます。関大で過ごした大学生活はいかがでしたでしょうか。今年度最後の「関西大学通信」は、みなさんのために思い出の写真がたくさん集めました。何年後に本紙を見た時に、関大で過ごした空間を思い出せるものであればいいと思います。



戦後最大の不況と言われる。景気を表す数字が何か、最大不況の方向を指すのだろうか。すなわち、ある一方から見ると「良くない」との意味である。この「良くない」は、よく一人歩きをし、全ての物事を一次元判断尺度の良い、悪い度に矮小化した見方の「良くない」に生まれ変わる。

物事は、色々な角度からの見方ができる。しかし、何故かある見方が示されると、みなその方向からの議論ばかりになる。教科書にも間違いが結構あるし、物事の見方も沢山あるはずである。

今号では、各専ら活躍している先輩からの言葉を四・五面特集として掲載している。これが、視野を広げ、新たな観点をもち、みなさんの幸運に繋がれば幸いである。

(飯田 幸雄)



▶ 編集後記 ◀

少し離れて見てみるとKUという文字が浮かび上がってきます。関西大学での思い出を胸に社会に出てからも頑張ってください。

Andrea Mosaicで作成 <http://www.andreaplanet.com/andreamosaic/>

企画・編集: 学生広報スタッフ
一文字真弓(社3)、川井萌(政策2)、佐納愛(商2)、
清永真弓(政策2)、高野公美子(文3)